



仙台塩釜港（石巻港区）雲雀野地区
国際物流ターミナル整備事業

ものづくり産業の拠点として港が地域経済を支える

現在 now

将来 future

インフラ

【擾乱状況（雲雀野区岸壁（水深13m））】

〈立地企業の声〉
港内の静穏度は良くなってきているが、防波堤の延伸による更なる静穏度向上に期待

地域

【石炭・バイオマス混焼火力発電所建設予定地（平成27年11月着手）】

建設予定地
雲雀野中央ふ頭
雲雀野地区

港内静穏度の確保

運転開始後は、石炭30万トン、木質系燃料10万トンを輸入予定

【防波堤（南）（平成35年度完了予定）】

工業品、木材等、飼料コンビナート、製紙・木材等、造船業、木材等、雲雀野中央ふ頭、岸壁水深3m、岸壁延長520m、港内静穏度の向上、雲雀野地区、防波堤（南）2,280m

石巻背後企業の新たな事業展開の実現
新たな産業誘致へ期待

整備済：—
整備未了：.....

【石炭・バイオマス混焼火力発電所完成イメージ】

設備投資約400億円、地元雇用約50人

排煙脱硫装置、ボイラー、石炭ミル、冷却塔、タービン建屋、木質ペレットビン、木質チップヤード、石炭ヤード、電気集電機、排煙脱硫装置、バイオマスミル

平成35年度 防波堤完成 予定

- 国内有数の製紙工場が立地するなど、ものづくり産業拠点である仙台塩釜港石巻港区において、荷役の安定化を図るため、港内の穏度確保に向けて防波堤（南）を整備中
- 港湾背後には、原料を海外から輸入する石炭・バイオマス混焼発電所が平成30年3月の稼働を目指し建設中であり、地元雇用約50名、設備投資約400億円が見込まれ、地域経済の復興に貢献
- 港湾背後企業の事業展開の実現や、新たな産業誘致に期待

【宮城県位置図】

仙台塩釜港（塩釜港区）、仙台塩釜港（松島港区）、仙台塩釜港（山台港区）、仙台塩釜港（石巻港区）